

環境システム事業

環境システム事業では、「エネルギー・空気・水」を総合的にコントロールする環境制御技術の活用により、人々が快適に過ごすための環境づくり、モノづくりにとって最適な空調設備の設計および施工を行っています。



技術力の向上とグローバル化の推進で、
事業全体の付加価値を高め、
持続可能な社会の実現に貢献していきます。

取締役常務執行役員 環境システム事業部長
祖父江 正

事業を取り巻く環境(リスクと機会)

- 低炭素建築物への需要増加、先進的な省エネ技術開発へのニーズの高まり
- 持続可能な社会の実現に向けた設備投資の加速(カーボンニュートラル、スマートファクトリーなど)
- 世界的な半導体不足、電気自動車・燃料電池車の開発競争などを背景に製造業の設備投資が活発化
- デジタル技術の進展、国内労働力人口の減少を背景とした省人化・自動化ニーズへの高まりにより工場などのスマート化が加速
- 首都圏などで計画される超大型再開発などで、老朽化したビル・インフラの改修やカーボンニュートラル対応のビルリニューアルなどの拡大見込み
- 将来の建設産業の担い手不足、DXによる建設現場のスマート化

強み

- 顧客の高い要求に応えることで培われてきた追求型の課題解決
- ハイスペック案件への対応力と豊富な施工実績
- 顧客に密着したソリューション提供
- アジアをはじめとする広範なグローバルネットワーク

リスクと機会を踏まえた環境システム事業環境

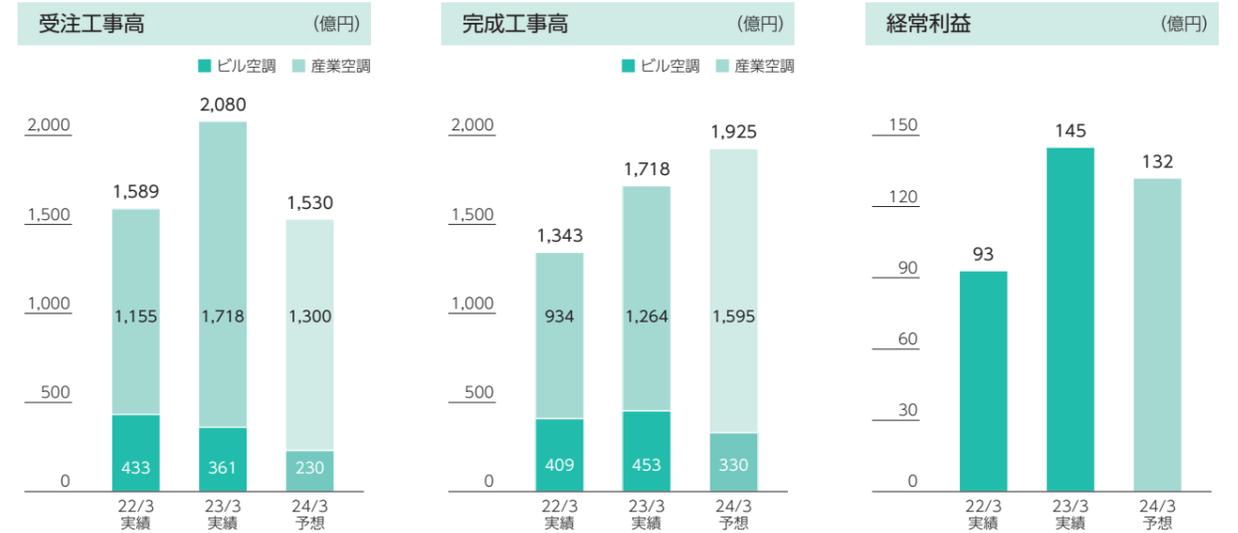
環境システム事業は、足元では好調な設備投資などに支えられ、堅調に推移しています。今後のさらなる成長を目指していくうえで、人材育成の強化による技術力の向上、グローバル化の推進に注力していきたいと考えています。

当事業部の人員構成は、高齢層や若手の層に比べて中堅社員層が相対的に少ない状況になっており、人材育成により若手を早期にレベルアップしていくことが喫緊の課題と認識しています。そうした課題に対応していくためにも、難度の高い設計・施工のプロジェクトに積極的に取り組み、人材の質・量とともにレベルアップさせ、技術力のある専門的な人材を増やしていきます。こうした取り組みを通じて、技術面で強い人材をそろえ、事業全体の付加価値を高めることで、他社との差別化を図っていきます。

グローバル化の推進については、現在当事業部の売上高に占める海外比率は約30%ですが、今後も海外比率を伸ばしていきます。特にインドは、完全子会社となったNicomac社の強みを活かして市場の拡大を目指します。

さらに、グローバル化の推進にあたって不可欠なグローバル人材の育成にも注力します。希望者には若いうちから海外赴任を経験させ、海外でチャレンジする機会を増やすなどグローバルに活躍する人材を育成していきます。また、ナショナルスタッフについても、経営者教育や日本と海外との人材交流を進めるなど、グループベースで人材活用の最適化を進めます。

脱炭素への意識が高まるなかで、お客さまの動きにいかにか素早く対応していくか、ここにビジネスチャンスもあると感じています。今後も、長期ビジョンに掲げた「エネルギー・空気・水の創造的なエンジニアリングにより、持続可能な社会へ貢献する」の実現に向けて、お客さまのニーズに合うソリューションの提供に尽力していきます。



重点戦略

- 海外ネットワークを活かした非日系顧客からの受注拡大
- 豊富な知識、経験を積んだプロフェッショナルの育成による施工品質の向上
- 海外拠点におけるナショナルスタッフの活躍の機会の創出
- 高い技術力を発揮できる分野へ注力。顧客との結びつきを強め、顧客の技術革新に積極的に追随
- 最先端技術のプロジェクトを通じてスペシャリストを育成するとともに、機動力のある組織づくりを実施
- 技術開発センターとR&Dサテライトを活用して顧客の潜在的ニーズを発掘
- デジタルデバイス、現場業務支援ツールの積極的な導入
- 作図業務におけるBIM活用

中期経営計画の方向性

付加価値を生み出し続ける事業展開

- 海外事業のさらなる拡大
- 当社の生命線であるエンジニアリング力の強化
- 国・地域・人種を超えて全ての社員が輝けるグループを目指し、進出国の経済発展・技術力向上に貢献

技術の気社を強化

- 技術力の一層の向上
- 技術の集積・伝承を推進
- 顧客・プロジェクトの技術ニーズへの柔軟な対応
- 新たな価値創造の機会の創出

業務の仕組みの改善と生産性向上

- 国内の労働人口の減少、建設業の担い手不足への対応
- 労働時間の短縮を図り、社員の働きやすさ、ワークライフバランスを向上

グループ全体での人材の有効活用

当社は2013年12月にミャンマーに子会社Taikisha Myanmar Co., Ltd.を設立し、工場建設に伴う設備工事や電気工事などを中心に事業を展開してきました。当社とミャンマーとの歴史は古く、子会社を設立する前の1980年代から医療や交通、農業分野の空調設備工事に携わっており、ミャンマーの経済発展とともに歩んできました。

しかしながら、2021年のクーデター以降、ミャンマーの政治・経済情勢は大きく変化しています。当社では、事業環境の変化に柔軟に対応するとともに、優秀な人材をグループ全体で有効に活用する一環として、現地採用のスタッフのうち希望する者については、当社の他のアジア拠点への配置転換や本社(日本)での受け入れを進めています。当社グループは、こうした取り組みを通じて、国籍・性別等にとらわれないインクルーシブな社会の実現に貢献していきます。



環境システム事業部本部で活躍するミャンマーの社員